

記者発表（発表・資料配布）				
月／日 (曜日)	担当事務所 部署名	電話番号 (ダイヤルイン)	発表者名 (担当名)	その他 配布先
7/5 (木)	兵庫県立大学	078-794-6635	兵庫県立大学学長 太田 勲 副学長 高坂 誠 社会情報科学部準備室長 (学部長予定者) 加藤 直樹 (大学改革室長 松岡 也寸志)	文部科学記者会 県政記者クラブ 大学・科学記者 クラブ

兵庫県立大学「社会情報科学部」開設にかかる 記者会見の実施

6月29日に文部科学省への設置届出を行った「社会情報科学部」について、入学者選抜方法を含め、学部の全体像を決定しましたのでお知らせします。

【問合せ先】

（新学部（社会情報科学部）の教育内容、入試方法に関する問合せ）

兵庫県立大学 経営研究科 教授 藤江 哲也

TEL：078-794-5893 FAX:078-794-5575

E-mail：fujie@mba.u-hyogo.ac.jp

（その他新学部に関する問合せ）

兵庫県立大学 教育企画部大学教育改革室長 松岡 也寸志

TEL：078-794-6635 FAX:078-794-5575

E-mail：yasushi_matsuoka@ofc.u-hyogo.ac.jp

兵庫県立大学「社会情報科学部」の開設について

兵庫県立大学では、社会のニーズに的確に対応するとともに、魅力ある教育研究を進めるため、経済学部・経営学部を再編し、平成31(2019)年4月に「国際商経学部」と「社会情報科学部」の2つの学部を開設します。

このうち、「社会情報科学部」については、平成30(2018)年6月29日に文部科学省へ学部設置届出を行い、このたび、入学者選抜方法を含めた学部の全体像がまとまりましたので、発表致します。 ※「国際商経学部」については、6月14日に発表済み。内容は【参考】のとおり。

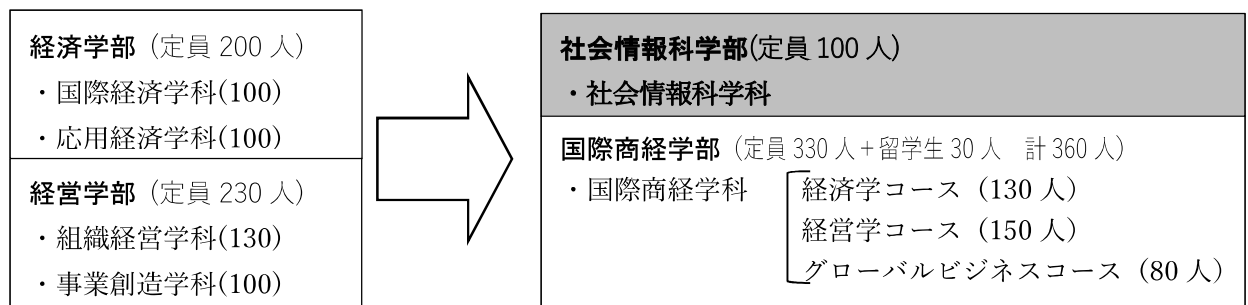
1 学部再編の概要

(1) 再編の考え方

急速なグローバル化の進行、人工知能の発達など情報科学技術の飛躍的な発展による社会構造の変化を見据え、経済経営を幅広く学ぶとともに、グローバル社会で活躍できる人材を育成する「国際商経学部」、社会に対する広範な知識と情報に関する分析能力を涵養する教育により創造的な人材を育成する「社会情報科学部」を設置する。

(2) 開設時期 平成31(2019)年4月

(3) 所在地 神戸商科キャンパス（神戸市西区学園西町8-2-1）



2 「社会情報科学部」の特徴

ビッグデータやIoT、人工知能等のIT関連分野において先端的な技術・サービスを担う人材（先端IT人材）が、2020年には約4.8万人不足すると試算（経済産業省推計）。このような社会的背景を踏まえ、首都圏以外の公立大学で初となるデータサイエンス教育を中心に据えた学部を開設する。

本学部は、データ分析結果を社会の課題解決につなげる「社会実装力」の習得に重点を置いており、社会科学と情報科学の融合が学部の大きな特徴であることから、学部名称を「社会情報科学部」とした。なお、「社会情報科学部」という学部名称は、全国初となる。学部の特徴は以下のとおり。

(1) 情報科学の確かな知識・技術を修得

データ分析に必要な知識と技術を中心に、情報科学の基礎から応用までを段階的に修得。1年・2年次でその基礎を徹底的に学び、2年次以降の専門教育では、計算機システムとその運用、分析の精度を高める機械学習、データ計算コストを見積もる計算理論などデータを処理・分析する情報科学のスキルを修得する。

(2) 課題解決に導く文理融合の発想力を養成

情報科学技術やデータ分析等のスキルを活かして課題解決に向けた糸口を掴み、新たな解決策を導き出す発想力を磨く。経済・経営学の分野を中心に、データを生み出す背景となる社会の仕組みや意思決定のプロセス、課題解決のノウハウを学ぶ。

(3) 企業等と連携した現場重視の実践教育を展開

実際の企業活動等から得られたデータを演習科目の教育で活用することによって、業種ごとのデータの特徴や有効な処理方法を体感的に学ぶ。また、少人数による演習では、自ら体験的に学ぶ PBL（問題解決型学習）の形態を取り入れ、データから課題を抽出、解決を行う一連の流れの中で実践力を身に付けさせるほか、データが生まれる現場で分析処理を経験するため、企業へのインターンシップなども実施する。

(4) 最前線の研究・実践の知見に触れる教育

スーパーコンピュータ「京」を活用した情報科学分野の最先端研究に取り組む応用情報科学研究科やシミュレーション学研究科の教員 7 名を専任教員として配置し、データ分析やプログラミング等の高度な専門教育を提供する。また、企業・自治体・研究機関等の最前線で活躍する実践者を講師として招き、最前線のデータ分析技術やその動向を学習する。

3 卒業後の活躍が期待される分野

金融、IT 企業、製造業、マスコミ、総合商社、公務員、研究機関、シンクタンク、情報系大学院への進学など。

<具体的な職種>

- ビッグデータを解析し、ビジネス戦略や課題解決などに活かすエンジニア
- データ分析技術を活用するコンサルタント
- 市場経済のデータを分析し、経済動向を予測するマーケティング担当
- 製品開発担当、政策立案担当、経営イノベーション担当、大学・企業等研究者

4 社会情報科学部の学生募集（入学定員及び選抜方法）

社会情報科学部の入学者選抜方法等が決定しましたので公表します。（詳細は、別添資料のとおり。） ※その他の学部・大学院については6月14日に発表済み。

(1) 選抜方法及び定員

選抜方法		募集定員
一般入試	前期	60名
	中期	20名
推薦入試		20名
帰国生特別選抜		若干名
外国人留学生特別選抜		若干名
計		100名

(2) 学生募集（入学試験）における特徴

- ・優秀な学生を幅広く確保するため、中期日程での入試を実施。
- ・理系、文系両方の学生が受験できる入試問題を構成
(数学：数Ⅰ・A・Ⅱ・Bから出題する共通問題と、この4科目と数Ⅲから選択する問題で構成)

5 「新教育研究棟」の整備

2年次以降の高度情報処理を主体としたカリキュラムに対応するための教育研究施設を整備する。1階のオープンスペースには、学生の自主学習やグループ学習のほか、講演会や学生の発表会等にも活用できる「ラーニングcommons」を設置。

企業等から提供されるデータを分析・処理する「データ演習室」のほか、分析データをもとに学生が主体的に課題研究演習に取り組む「PBL 演習室」や、企業・研究機関との共同研究用として、また学生用の研究スペースとしても活用できる「共同研究室」を設置するなど、学生が主体的に研究に集中できる環境を整える。

- (1) 建設場所：神戸商科キャンパス内
- (2) 整備内容：地上4階建 延床面積 約3,300 m²、概算事業費 約13億円
- (3) 供用開始：2020年4月

【施設構成】

主な施設	部屋数	用 途
ラーニングcommons	—	学生の自主学習、グループ学習等に使用
PBL 演習室	12 室	データ分析に基づく課題解決型専門教育を実施
共同研究室	7 室	企業・研究機関との共同研究室、ゼミ生の研究室として使用
データ演習室	2 室	実践的なデータ処理・分析の専門教育を実施
教員研究室	20 室	専任教員用の研究室
サーバ室	1 室	大容量サーバを備え、ビッグデータを蓄積

＜新教育研究棟 内観イメージ＞



ラーニングcommons



データ演習室



※上記イメージ図は基本設計段階のものであり、今後変更される可能性があります。

2019年度（平成31年度）

兵庫県立大学 社会情報科学部
入学者選抜方法等

【試験の種類及び募集定員】

(単位：人)

	一般入試			推薦入試						A O 入 試 (※2)	帰 国 生 選 抜	外 国 人 留 学 生 選 抜	帰 国 生 特 別 選 抜	外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜	計	編 入 学
	前 期 日 程	中 期 日 程	後 期 日 程	対象学科(※1)				女子 学生 特 別	(附 属 高 校)							
				普 通 科 等	理 数 科 等	工 業 科 等	商 業 科 等									
国際商経学部 国際商経学科	205	—	40	80				—	若干名	—	5	30	若干名	若干名	360	—
経済学コース 経営学コース	180	—	40	45	—	—	15	—	若干名	—	—	—	若干名	若干名	280	—
グローバル ビジネスコース	25	—	—	20				—	若干名	—	5	30	—	—	80	—
社会情報科学部 社会情報科学科	60	20	—	20				—	若干名	—	—	—	若干名	若干名	100	—
工学部	120	—	140	28	9	—	15	40	—	—	—	若干名	若干名	352	若干名	
電気電子情報 工学科	43	—	50	10	3	—	5	15	—	—	—	若干名	若干名	126	若干名	
機械・材料 工学科	43	—	50	10	3	—	5	15	—	—	—	若干名	若干名	126	若干名	
応用化学 工学科	34	—	40	8	3	—	5	10	—	—	—	若干名	若干名	100	若干名	
理学部	—	135	—	30				—	10	—	—	—	若干名	若干名	175	若干名
物質科学科	—	70	—	15				—	5	—	—	—	若干名	若干名	90	若干名
生命科学科	—	65	—	15				—	5	—	—	—	若干名	若干名	85	若干名
環境人間学部 環境人間学科	115	—	20	45				—	25	若干名	—	—	若干名	若干名	205	若干名
うち 食環境栄養課程	35	—	—	5				—	若干名	—	—	—	—	—	40	—
看護学部 看護学科	59	—	11	30				—	5	若干名	—	—	若干名	若干名	105	—

※1 国際商経学部・工学部の推薦入試は、対象となる高等学校の学科を指定しているものがあるので、各試験区分の内容を確認すること。社会情報科学部・理学部・環境人間学部・看護学部の推薦入試は学科の指定はない。

※2 看護学部のA O入試は社会人対象。

大 学 全 体

【育成する人材像】

豊かな人間性と公共の精神とともに、幅広い教養や専門知識・技能を含めた課題探究能力とグローバル・リテラシー（国際対話能力）を備えた、兵庫県をはじめとする地域や国際社会で活躍できる創造力と自律性を有する人材の育成をめざす。

< 求める学生像 >

- ① 兵庫県立大学の各学部・研究科の理念と教育(目標・内容)を十分に理解している人
- ② 次代を担う、社会に貢献する等の目的意識を持って自らの能力を伸長しようとする勉学意欲にあふれた人
- ③ 論理的思考や表現力など、志望する専門分野にふさわしい適性を有する人

【アドミッションポリシー】

< 知識・技能 >

- ① 高等学校卒業レベルの幅広い知識と教養を身につけている。
- ② 各学部的一般入試の出題教科(大学入試センター試験・個別学力検査)を履修し、基礎的な知識を身につけている。
- ③ 外国人留学生については上記に加え、兵庫県立大学の教育に対応できる。(日本語能力等)

< 思考力・判断力・表現力 >

- ④ 知識・技能を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現できる。
- ⑤ 幅広い知識と教養、柔軟な思考力に基づく判断力や創造力、コミュニケーション能力を有する。

< 主体性・多様性・協調性 >

- ⑥ 公共の精神や人権尊重の精神に基づき、よりよい社会づくりに向けて主体的に行動できる。
- ⑦ 震災の教訓を踏まえ、地域の人々と手を携えながら地域の発展に貢献する意欲がある。
- ⑧ 異なる文化や価値観を理解し、国際社会の発展に貢献する意欲がある。

社会情報科学部

【育成する人材像】

データ分析の専門技術を修得し、それを実際の問題に適用することができる応用志向の人材。
実践的な情報処理技術を身につけ、扱いが困難なデータや課題に対して、分析プログラムの作成などを行い、問題解決へと導く技術志向の人材。
基本的なビジネスモデルや社会の仕組みを理解し、情報処理技術およびデータ分析技術を駆使して、問題解決、価値判断に貢献する実践志向の人材。

＜求める学生像＞

情報技術やデータ分析に関心を持ち、社会や組織における様々な課題にそれらを用いて取り組むことに意欲がある学生を求める。そのために、必要な知識と技能を確実に身につけるための基礎的学力を有する学生、データを生み出す現代社会に関心と基礎知識を有する学生、前向きに課題に向き合い、積極的に取り組む意欲ある学生を求める。

【アドミッションポリシー】

- ① 高等学校で履修する教科の基礎的知識をバランス良く身につけている。
- ② 専門知識や技能を学ぶための基礎的な知識および理解力を有している。
- ③ 情報技術やデータ分析に関心を持ち、それを社会に活用することに意欲がある。

〔入学者選抜の基本方針〕

- ① 一般入試
前期日程、中期日程ともに大学入試センター試験を課す。このことによって、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学習に必要な基礎学力を持っているかを判断する。また、個別学力検査は、英語と数学の試験を行い、社会情報科学部において専門知識を得るための語学力や論理的思考力を持っているかをみる。
- ② 推薦入試
高等学校が学業成績、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有すると認めた人物に対して行う。選考では、調査書と推薦書によって高等学校での学習の達成度をみるほか、小論文・適性検査で社会情報科学部に適性を有するかどうか、面接によって学ぶ意欲などをみる。
- ③ 外国人留学生特別選抜
日本国籍を有しない者で「日本留学試験」を受験した人を対象に、小論文(日本語)、数学、および英語による試験を行い、大学での学習に必要な基礎学力を持っているかをみる。また、日本語による口頭試問によって、社会情報科学部で勉学する意欲、学力、および日本語能力を持っているかを判断する。
- ④ 帰国生特別選抜
日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を有する者で、2年以上外国で学んだ人を対象に、小論文、数学、英語、面接により、社会情報科学部で勉学できる学力と日本語能力を持っているかを判断する。

入学者選抜方法の基本事項等

【一般入試 出願資格】 ※ 特に指定がない限り全学部に共通

本学の一般入試に出願する者は、本学が指定するセンター試験の教科・科目を受験し、かつ以下の1～3のいずれかに該当しなければならない。

- 1 高等学校または中等教育学校の後期課程を卒業した者及び2019年(平成31年)3月卒業見込みの者
 - 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2019年(平成31年)3月修了見込みの者
 - 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2019年(平成31年)3月31日までにこれに該当する見込みの者
- なお3のうち、学校教育法施行規則第150条第7号に該当する者は、本学において出願資格認定を受けること。

【一般入試 入学者選抜方法の基本事項】 ※ 特に指定がない限り全学部に共通

- 1 第1次学力試験として、センター試験の受験を課す(平成30年度以前の大学入試センター試験の成績は利用しない)。
- 2 入学者選抜は、以下の各号の成績や内容等を総合して行う。
 - (1) センター試験の成績
 - (2) 個別学力検査(環境人間学部後期日程では実施しない)の成績
 - (3) 調査書
 - (4) 面接(看護学部のみ実施)の結果
- 3 2段階選抜の実施の有無については以下のとおり。

〔2段階選抜を実施する選抜〕 国際商経学部前期日程、**社会情報科学部中期日程**
〔2段階選抜を実施しない選抜〕 上記以外
- 4 欠員が生じた場合は、追加合格により補充することがある。(さらに欠員が生じた場合は、第2次募集により補充することがある。)

【推薦入試 出願資格】 ※ 特に指定がない限り全学部に共通

本学の推薦入試に出願する者は、以下の1～3のすべてに該当し、かつ各入試区分で定める出願資格を満たさなければならない。

- 1 以下の各号のうちいずれかの条件を満たす者
 - (1) 高等学校または中等教育学校の後期課程を2019年(平成31年)3月に卒業見込みの者
 - (2) 大学入学資格が付与されている専修学校高等課程を2019年(平成31年)3月に修了見込みの者で、
 - (1)と同等の条件を有すると本学が認めた者
 - (3) その他上記と同等の条件を有すると認めた者

※ (1)については、一部の入試区分では対象となる学科を指定しているので、各入試区分の内容を確認すること。

※ (2)、(3)に該当する者は事前に本学に相談すること。また、(3)に該当する者は本学の入学資格審査を受けること。
 - 2 1に掲げる学校の長が責任を持って推薦できる者
 - 3 合格した場合に、入学することを確約できる者
- ※ 本学他学部推薦入試及び他の国公立大学の推薦入試との併願はできない。

2019年度(平成31年度)兵庫県立大学 入学者選抜方法等

社会情報科学部 推薦入試							
学科・募集人員	社会情報科学科 20名						
出願期間	平成30年11月1日(木)～平成30年11月7日(水)						
入学考查日	平成30年11月24日(土)						
合格発表日	平成30年11月29日(木)						
出願資格	4ページに記載の出願資格を満たし、かつ学業成績が調査書の全体の評定平均値3.8以上の者						
推薦人数に関する条件	1校2名以内						
選抜方法	調査書、学校長の推薦書、小論文・適性検査、面接を総合して行う。 ※ 大学入試センター試験は課さない。 <table border="1"> <tr> <th>内 容</th><th>時間割</th></tr> <tr> <td>小論文・適性検査</td><td>10:00～12:00</td></tr> <tr> <td>面 接</td><td>13:00～</td></tr> </table> 適性検査は履修上必要となる数学の基礎的素養を見るためのものである。	内 容	時間割	小論文・適性検査	10:00～12:00	面 接	13:00～
内 容	時間割						
小論文・適性検査	10:00～12:00						
面 接	13:00～						
試験会場	神戸商科キャンパス						

社会情報科学部 一般入試																		
日 程			前 期		中 期													
学科・募集人員			社会情報科学科 60名		社会情報科学科 20名													
出願期間			平成31年1月28日(月)～平成31年2月6日(水)															
入学考查日			平成31年2月25日(月)		平成31年3月8日(金)													
合格発表日			平成31年3月7日(木)		平成31年3月21日(木)													
学力試験等	個別 学力 検査	時間割	<table><tr><td>出題教科・科目</td><td>時間割</td></tr><tr><td>外国語</td><td>10:00～12:00</td></tr><tr><td>数学</td><td>13:30～15:30</td></tr></table>		出題教科・科目	時間割	外国語	10:00～12:00	数学	13:30～15:30	<table><tr><td>出題教科・科目</td><td>時間割</td></tr><tr><td>数学</td><td>10:00～12:00</td></tr><tr><td>外国語</td><td>13:00～14:40</td></tr></table>		出題教科・科目	時間割	数学	10:00～12:00	外国語	13:00～14:40
		出題教科・科目	時間割															
		外国語	10:00～12:00															
	数学	13:30～15:30																
	出題教科・科目	時間割																
	数学	10:00～12:00																
外国語	13:00～14:40																	
出題科目 ・範囲等	・ 外国語 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ																	
	・ 数学 (必須問題)数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル) (選択問題)数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)																	
	※ 実技検査、面接は実施しない。																	
試験会場		神戸商科キャンパス																
センター試験			指定教科・科目は9ページに記載のとおり															
配 点			11ページに記載のとおり															
出願資格			4ページに記載のとおり															

社会情報科学部 外国人留学生特別選抜											
学科・募集人員	社会情報科学科 若干名										
出願期間	平成31年1月4日(金)～平成31年1月11日(金)										
入学考査日	平成31年1月26日(土)										
合格発表日	平成31年2月1日(金)										
出願資格	以下の1・2のすべてに該当する者 1 外国人で、外国において、日本の学校教育12年相当の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者 ただし、外国において正規の学校教育の12年目の課程を修了した者で、日本の中学校及び高等学校での在学期間が通算して2年以内であれば、出願資格を認める。 2 私費外国人留学生で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する2018年度(平成30年度)日本留学試験を受験した者 [日本留学試験に係る条件] ① 2018年度(平成30年度)日本留学試験第1回実施分または第2回実施分のいずれかを受験すること。 なお、2018年度(平成30年度)日本留学試験第1回実施分及び第2回実施分のいずれも受験している場合は、いずれの成績を用いて出願することも可とする。 ② 「日本語」「理科(3科目中2科目選択)または総合科目」「数学(コース1またはコース2)」の計3教科を受験すること。 なお、出題言語については日本語と英語のいずれを選択しても可とする。										
選抜方法	本学で行う学力検査、面接及び独立行政法人日本学生支援機構の実施する2018年度(平成30年度)日本留学試験の成績、並びに出願書類を総合して行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th><th>時間割</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文(日本語)</td><td>9:30～10:30</td></tr> <tr> <td>数 学</td><td>10:50～12:10</td></tr> <tr> <td>英 語</td><td>13:10～14:10</td></tr> <tr> <td>面 接</td><td>14:40～</td></tr> </tbody> </table> [出題科目・範囲] - 英語 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ - 数学 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	内 容	時間割	小論文(日本語)	9:30～10:30	数 学	10:50～12:10	英 語	13:10～14:10	面 接	14:40～
内 容	時間割										
小論文(日本語)	9:30～10:30										
数 学	10:50～12:10										
英 語	13:10～14:10										
面 接	14:40～										
試験会場	神戸商科キャンパス										

2019年度(平成31年度)兵庫県立大学 入学者選抜方法等

社会情報科学部 帰国生特別選抜											
学科・募集人員	社会情報科学科 若干名										
出願期間	平成31年1月4日(金)～平成31年1月11日(金)										
入学検査日	平成31年1月26日(土)										
合格発表日	平成31年2月1日(金)										
出願資格	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって、2年以上外国に学び、次の各号のいずれかに該当する者 ただし、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を除く (1)学校教育における 12 年の課程のうち、外国において最終の学年も含めて2年以上継続して在学し、2017 年(平成 29 年)年4月1日から 2019 年(平成 31 年)3月 31 日までに卒業・修了した者または卒業・修了見込みの者 (2)次のいずれかの資格を 2017 年(平成 29 年)または 2018 年(平成 30 年)に授与された者で、2019 年(平成 31 年)3月 31 日までに 18 歳に達する者 ・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアヴィトゥア資格 ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格										
選抜方法	本学で行う学力検査、面接、並びに出願書類を総合して行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th><th>時間割</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文(日本語)</td><td>9:30～10:30</td></tr> <tr> <td>数 学</td><td>10:50～12:10</td></tr> <tr> <td>英 語</td><td>13:10～14:10</td></tr> <tr> <td>面 接</td><td>14:40～</td></tr> </tbody> </table> 〔出題科目・範囲〕 ・ 英語 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ ・ 数学 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	内 容	時間割	小論文(日本語)	9:30～10:30	数 学	10:50～12:10	英 語	13:10～14:10	面 接	14:40～
内 容	時間割										
小論文(日本語)	9:30～10:30										
数 学	10:50～12:10										
英 語	13:10～14:10										
面 接	14:40～										
試験会場	神戸商科キャンパス										

【センター試験 指定教科・科目一覧】

[表の見方]

◎は必須科目、－は指定科目ではない科目、「1/5」は5科目中1科目を選択(以下同様)。

ただし理科①は2科目合わせて1科目とみなす。

指定科目数を超える科目を受験した場合の成績の採用方法は、次ページで確認すること。

教科・科目 学部・学科・ 試験区分				国語	外国語	数学①		数学②				理科①	理科②	地理歴史・ 公民		
				「国語」	「英・ リ」	「独」「仏」「中」「韓」	「数Ⅰ」	「数ⅠA」	「数Ⅱ」	「数ⅡB」	「情報」	「簿記・会計」	「生基」「地基」 「物基」「化基」	「生物」「地学」 「物理」「化学」	「現社」「倫政」 「日B」「世B」「地B」	「日A」「世A」「地A」 「倫理」「政経」
一般入試	国際商経学部	経済学コース 経営学コース		◎	1/5	－	◎	－	1/3				理科①2/4又は 理科②1/4		1/5 (注3)	－
		グローバル ビジネスコース		◎	1/5	－	◎	－	1/3				理科①2/4又は 理科②1/4		1/5 (注3)	－
	社会情報科学部		◎	◎	－	－	◎	－	1/2				理科①2/4又は 理科②1/4		1/5	－
	工学部		◎	1/5	－	◎	－	1/3(注1)				－	「物理」 「化学」 必須	1/10		
	理学部		◎	1/5	－	◎	－	1/3(注1)				－	2/4	－	－	
	環境人間学部	文系型	前期	◎	1/5	1/2		－	－	－	－	2/13(注2)				－
			後期	◎	◎	－	1/2		－	－	－	－	2/13(注2)			
		理系型	前期	◎	1/5	－	◎	－	◎	－	－	－	2/9		－	
			後期	◎	◎	－	－	◎	－	◎	－	－	2/9		－	
		食環境 栄養課程	前期	◎	1/5	－	◎	－	◎	－	－	－	2/9 ただし「化学」ま たは「生物」必須 （「化学」と「生 物」の組み合わ せも可）		－	
看護学部		◎	◎	－	1/6(注1)						－	1/4	1/10			
推薦入試	工学部	普通科・ 理数科・ 総合学科等	－	◎	－	－	◎	－	◎	－	－	－	「物理」 「化学」 必須	－	－	
		工業科等	－	◎	－	－	◎	－	1/2			－	「物基」「化 基」必須	－	－	

注1:「情報」「簿記・会計」は、高等学校または中等教育学校において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程修了(見込み)者に限って、選択することを認める。

注2:理科①・理科②について、同一名称を含む2科目の組合せ(例:「化基」と「化学」)はできない。

注3:理科①・理科②・地理歴史・公民の指定科目に2019年度入試のみ経過措置あり。(次ページ参照)

【センター試験 指定科目数を超えて受験した場合の成績の採用方法】

【国際商経学部・社会情報科学部・工学部・看護学部 一般入試(前期・後期共通)】

受験科目の選択パターン	採用する成績			
	国際商経学部	社会情報科学部	工学部	看護学部
数学①と数学②を受験した場合	(どちらも必須)	(どちらも必須)	(どちらも必須)	得点が高い方
理科①と理科②を受験した場合	理科①2科目の合計点と理科②の得点のいずれか高い方	理科①2科目の合計点と理科②の得点のいずれか高い方	(理科①は不可)	(理科①は不可)
理科②を2科目受験した場合	第1解答科目	第1解答科目	(「物理」「化学」必須)	第1解答科目
地理歴史・公民を2科目受験した場合	第1解答科目	第1解答科目	第1解答科目	第1解答科目

【環境人間学部 一般入試(前期・後期共通)】※環境人間学部食環境栄養課程は前期のみ

合計点の組合せ (○は該当する可能性があるもの)	環境人間学部		
	文系型	理系型	食環境栄養課程
A 理科①(2科目計)と理科②の第1解答科目	○		
B 理科①(2科目計)と地理歴史・公民の第1解答科目	○		
C 理科②の第1解答科目と地理歴史・公民の第1解答科目	○	○	○
D 理科②の第1解答科目と第2解答科目	○	○	○
E 地理歴史・公民の第1解答科目と第2解答科目	○	○	
A～Eの該当する組合せの中で最も高い合計点を採用する。ただし、環境人間学部食環境栄養課程はこのうち「化学」または「生物」を含む組合せの中で最も高い合計点を採用する。			
・例1	理科②	第1解答科目 「物理」 70点	地理歴史・ 第1解答科目 「地B」 65点
		第2解答科目 「化学」 60点	公民 第2解答科目 「現社」 75点
[環境人間学部:文系型・理系型] 該当するC～Eのうち、最も合計点が高いE(140点)を採用 [環境人間学部:食環境栄養課程] 該当するのはD(130点)のみ			
・例2	理科①	「化基」「生基」 70点	地理歴史・ 第1解答科目 「世A」 65点
	理科②	第1解答科目 「化学」 60点	公民 第2解答科目 「現社」 60点
[環境人間学部] 理科①・理科②は同一名称(「化基」「化学」)を含むためAは該当せず、地理歴史・公民の第1解答科目「世A」は指定科目ではないのでB・C・Eも該当しないため、出願資格を満たさない			

【2019年度入試の経過措置】

【国際商経学部 一般入試(前期・後期共通)】(注3)

大学入試センター試験の指定教科・科目については、2019 年度に限り、現経済学部・経営学部の統合・再編に伴う経過措置として、次の選択も認める。

教科	科目	科目選択の方法	指定科目数を超える科目を受験した場合
地理歴史・公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地A」「地B」「現社」「倫理」「政経」「倫政」	18科目の内から2科目を選択 ただし、理科①で選択した科目については、合わせて1科目とみなす。なお、同一名称を含む2科目の組み合わせは、地理歴史・公民においてはできないが、理科においてはできる。	以下のA～Eのうち最も高い総計点を採用する。 A:地理歴史・公民の第1解答科目と第2解答科目 B:地理歴史・公民の第1解答科目と理科①の科目 C:地理歴史・公民の第1解答科目と理科②の第1解答科目 D:理科①の科目と理科②の第1解答科目 E:理科②の第1解答科目と第2解答科目
理科	①	「生基」「化基」「物基」「地基」	
	②	「物理」「化学」「生物」「地学」	

【センター試験と個別学力検査等の配点一覧】

[表の見方]

上段:センター試験の配点、中段:個別学力検査等の配点、下段:合計

学部等			教科等	国語	外国語 (注1)	数学	理科	地理 歴史 ・公民	総合 問題	小論文	面接	合計
一般入試	国際商経学部	経済学コース 経営学コース	前期	200 — 200	200 300 500	200 300 500	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— — —	800 600 1,400
			後期	200 — 200	200 200 400	200 200 400	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— — —	800 400 1,200
			前期	200 — 200	200 400 600	200 200 400	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— — —	800 600 1,400
		グローバル ビジネス コース	前期	200 — 200	200 400 600	200 200 400	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— — —	800 600 1,400
			前期	200 — 200	300 200 500	300 400 700	100 — 100	100 — 100	— — —	— — —	— — —	1,000 600 1,600
			中期	200 — 200	300 200 500	300 400 700	100 — 100	100 — 100	— — —	— — —	— — —	1,000 600 1,600
	工学部		前期	100 — 100	100 100 200	100 200 300	100 200 300	50 — 50	— — —	— — —	— — —	450 500 950
			後期	100 — 100	100 — 100	200 — 200	100 300 400	50 — 50	— — —	— — —	— — —	550 300 850
			中期	100 — 100	100 200 300	100 200 300	100 200 300	— — —	— — —	— — —	— — —	400 600 1,000
	環境人間学部 (注2)		前期	200 — 200	100 — 100	200 — 200	200 — 200	— — —	300 — 300	— — —	— — —	700 300 1,000
			後期	200 — 200	100 — 100	200 — 200	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— — —	700 — 700
			前期	200 — 200	200 — 200	200 — 200	100 — 100	100 — 100	— — —	— 200 200	— ○ —	800 200 1,000
	看護学部		後期	100 — 100	200 — 200	100 — 100	100 — 100	100 — 100	— — —	— 100 100	— ○ —	600 100 700
			前期	— — —	200 — 200	200 — 200	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— ○ —	600 — 600
			後期	— — —	200 — 200	200 — 200	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— ○ —	400 — 400
	推薦入試 工学部	普通科・ 理数科・ 総合学科等	前期	— — —	200 — 200	200 — 200	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— ○ —	600 — 600
			後期	— — —	200 — 200	200 — 200	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— ○ —	400 — 400
			前期	— — —	200 — 200	200 — 200	200 — 200	— — —	— — —	— — —	— ○ —	600 — 600

注1: センター試験の外国語のうち「英・リ」の配点は、筆記試験(200点満点)及びリスニング試験(50点満点)の合計点(250点満点)を、表中に記載の点数を満点として換算する。

注2: 環境人間学部の国語と数学の左欄は文系型、右欄は理系型・食環境栄養課程の配点。

注3: 工学部工業科等推薦入試の理科の配点は、高得点の方の科目を100点満点として換算する。